

学校教育目標

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

よく考えずんで学ぶ子（知）
思いやりのある心豊かな子（情）
最後までやりぬく子（意）
たくましくじょうぶな子（体）

多くの児童が本好きで、読書量も増加しているが、調べ学習等で図書館を利用する機会は少ない。

学校図書館の目標

学校図書館の活用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培う。
読書を通して豊かな心を育む。

ねらい

- ① 児童の読書意欲を高め、豊かな心情と幅広い知識を身につけさせる。
- ② 学び方指導を充実し、図書館や資料の望ましい利用態度を養う。
- ③ 多様な資料から目的に応じた情報を選びとる情報活用能力を育成する。

指導の重点

- ① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
- ② 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。
- ③ 司書教諭を中核とした学校図書館教育の推進を図る。

各学年の重点目標

第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館のきまりや図書の扱い方を知る。 ・ 楽しんで絵本や童話を読む。 ・ 本で知ったことを表現する。 	第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の使い方を確認する。 ・ 様々な種類の本を読む。 ・ 進んで図書館を利用し、資料から情報を収集し知ったことをまとめて表現する。 	第五学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決のために図書館を利用し、資料情報を収集、取捨選択し、まとめて表現する。 ・ 読書を通して心に残ったことや考えたことを話し合う。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館のきまりを守り、図書の扱い方や借り方など正しく利用する。 ・ たくさん本を読む。 ・ 本で調べ、知ったことをまとめて表現する。 	第四学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決のために必要な図書を探し、情報を収集し知ったことをまとめて表現する。 ・ 読書の幅を広げる。 	第六学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に図書館を利用し、資料情報を収集、適切に理解・解釈・分析し、自身の言葉で表現する。 ・ 読書を通して心に残ったことや考えたことを話し合う。

具体的な取組

〔各教科〕

- 図書館機能を活用し、課題解決学習の場とする。
- 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
「パンフレット・新聞・ポスターセッション・報告文」等
- 読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

〔読書科〕

- 読書意欲の向上、推進、習慣化を図る。
「読み聞かせ・アニメーション・ブックトーク・ポップ作り・ビブリオバトル」等

〔総合的な学習の時間〕

- 学び方や考え方を身につける。
- 課題の解決、探究に主体的に取り組む。
- 系統的に情報活用能力を育成する。

〔特別活動〕

- 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。
- 特別活動の中で積極的に図書館を活用する。

〔特別の教科 道徳〕

- 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接する中で、自分を深め、道徳的心情を培う。

〔家庭・地域・区立図書館職員との連携〕

- 年2回の読書週間による親子読書の推進。
- ボランティアや公立図書館との連携。

朝読書の推進

推進組織の確立・充実

図書館経営評価の実施

図書環境の整備・充実

